

(様式1) <b>平成19年度 事務事業評価表</b>					
記入年月日		記入者		連絡先	3243
平成18年度部名	土木部	課名	土木計画課	課長名	佐藤 繁
平成19年度部名	土木部	課名	土木政策課	課長名	佐藤 繁
事務事業名	急傾斜地崩壊対策事業				
予算上の事務事業名	急傾斜地崩壊対策事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		23110		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				
施策名	第1施策 災害に強い都市基盤の整備				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	神奈川県 与瀬横道地区急傾斜地崩壊対策事業計画		全体延長100mの急傾斜地について、3ヶ年計画で崩壊防止工事を施工するもの。		
計画年次	17	年度～	19	年度	
4 事業形態の区分	維持・管理・補修		5 事業開始年度	平成17年度	
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				
急傾斜地崩壊危険区域の指定を受けた相模湖町与瀬横道地区において、3ヶ年の計画で県が施行する崩壊防止工事に対し、「急傾斜地崩壊対策工事の施行に伴う費用負担等に関する協定書」に基づく負担金を支出するもの。			(2) 対象(誰、何)		
			神奈川県		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
18年度事業分40,000千円に対し、負担金として4,000千円(負担割合10%)を支出した。					
本工事費 35,000千円 調査委託費 3,000千円 +) 事務費 2,000千円 全体事業費 40,000千円 × 負担割合10% = 4,000千円					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移	[単位:千円]				
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	2,998	4,000	4,000	0
一般財源	0	2,998	4,000	4,000	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	33	33	33	0
事業コスト合計	0	3,031	4,033	4,033	0
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	与瀬横道地区急傾斜地崩壊対策事業			対象名称 と単位	施工延長(m)
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	3,031	4,033	4,033	0
対 象 数	0	27	40	33	0
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	112,259	100,825	122,212	#DIV/0!
前 年 度 比		#DIV/0!	0.90	1.21	#DIV/0!

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	施工延長（m）		指標式と指標の説明		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	27.0	40.0		
目標	0.0	27.0	40.0	33.0	0.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	対策工事完了延長（m）		指標式と指標の説明		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	27.0	67.0		
目標	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0
目標達成度（%）	100.0	27.0	67.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [ A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない ]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [ A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない ]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [ A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い ]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [ 有・無 ]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[ ] : 良好な状態を維持する事業				
	[ ] : 概ね良好な状況である事業				
	[ ] : 見直しを行う必要がある事業				
	[ ] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		市民生活の安全の確保に必要な事業への負担金であり、引き続き応分の負担を行うとともに、事業主体である県に対し、事業計画どおり着実に整備が進むよう働きかけていく。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
事業主体である県に対し、十分な安全性の確保と共にコスト削減についても引き続き求めていく。					
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		・引き続き急傾斜地崩壊危険区域の指定について県に働きかけ、危険箇所への解消に努める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			